

# 給与支払報告書(個人別明細書)の記載例

※詳しい書き方は、税務署配布の「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引き」をご参照ください。

**住所欄**  
令和6年1月1日現在の住所をご本人に確認のうえ、正確に記入してください。

**種別欄**  
「給与」「賞与」など、支払った給与等の種別を記入してください。(青色専従者給与の場合は「青専」、白色専従者の場合は「白専」の記入をお願いします。)

**(源泉)控除対象配偶者の有無欄**  
「有」欄.....年末調整の適用者で、控除対象配偶者注2がいる場合は、「○」を記入してください。  
年末調整を受けない場合は、源泉控除対象配偶者注3がいる場合に「○」を記入してください。  
「老人」欄... 控除対象配偶者(年末調整を受けない人は源泉控除対象配偶者)が70歳以上の場合は「○」を記入してください。

**摘要欄①**  
・中途就職者で前職の給与等を合算して年末調整をした場合は、前職の「給与支払額」「源泉徴収税額」「社会保険料」「支払者名」を記入してください。  
・5人目以降の控除対象扶養親族の対象がいる場合は、その氏名を記入してください。

**住宅借入金等特別控除の額の内訳欄**  
住宅ローン控除を適用した場合は「居住開始年月日」を記入してください。年末調整で控除しきれない控除額がある場合は、「住宅借入金等特別控除可能額」も記入してください。  
※記載がないと住民税への適用の有無と控除額が判断できません。

**本人障害者・寡婦・ひとり親・勤労学生欄**  
本人に該当する控除がある場合は○をしてください。  
※寡婦・ひとり親については、離別・死別、扶養の有無など控除要件を満たすかどうかの確認をお願いします。

**控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)欄**  
控除対象扶養親族・障害者がある場合は、その人数を記入し、「控除対象扶養親族」欄にその扶養親族の氏名、フリガナ、個人番号(マイナンバー)12桁を記入してください。  
「特定」・・・19歳～22歳の扶養親族  
「老人」・・・70歳以上の扶養親族  
※老人扶養のうち、同居の直系尊属がいる場合はその人数を「内」の欄へも記入  
「その他」・・・16歳～18歳および23歳～69歳の扶養親族  
※16歳未満の扶養親族の人数は「16歳未満扶養親族」欄へ記入してください。

⑥

※ 区分	※ 種別	※ 整理番号	※
住所	志摩市阿児町鶴方3098番地22	受給者番号 個人番号	123456789012
種別	給与	役職名	(フリガナ) シマ タロウ
		氏名	志摩 太郎
種別	支 払 金 額	給与所得控除後の金額 (調整控除後)	所得控除の額の合計額
給与	6 000 000	4 260 000	2 440 000
源泉控除対象配偶者の有無	有	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)	源泉徴収税額
○	380 000	1 1 1	0
社会保険料等の金額	300 000	生命保険料の控除額	地震保険料の控除
		120 000	50 000
住宅借入金等特別控除の額			住宅借入金等特別控除の額
			91 000
(前職) (有) ●▲■ R5.6.31退職 支払額: 1,200,000円 社会保険料: 178,000円 源泉税額: 1,160円			
生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	旧生命保険料の金額	介護医療保険料の金額
60,000	70,000	80,000	新個人金の金額
住宅借入金等特別控除の内訳	1	居住開始年月日(1回目)	H27 年 7 月 7 日
100,000		居住開始年月日(2回目)	
氏名	志摩 花子	氏名	志摩 太郎
個人番号	234567890123	個人番号	5678
氏名	志摩 二郎	氏名	志摩 三郎
個人番号	345678901234	個人番号	0123456
氏名	志摩 うみ	氏名	
個人番号	456789012345	個人番号	
氏名		氏名	
個人番号		個人番号	
氏名		氏名	
個人番号		個人番号	
本人が障害者	寡婦	ひとり親	勤労学生
○			
中途就・退職	受給者生年月日	元 号	年 月 日
○	昭和 43 8 9		
個人番号又は法人番号	8901234567890	住所(居所)又は所在地	志摩市阿児町鶴方〇〇番地
		氏名又は名称	株式会社 志摩市
		(電話)	0599-〇〇-XXXX
特定	老人	その他	16歳未満扶養親族の数
1	1 1 1		1
人 従人	内 人 従人	人 従人	人 内 人 人

**個人番号欄**  
支払いを受ける者の個人番号(マイナンバー)12桁を正確に記入してください。

**氏名・フリガナ欄**  
氏名を正確に記入し、フリガナは必ずつけてください。  
※記載がないと個人の特定ができません。

**摘要欄②**  
合計所得金額が1,000万円を超えている受給者の同一生計配偶者注1が障害者、特別障害者または同居特別障害者に該当する場合は、その配偶者の氏名と同一生計配偶者である旨を記入してください(例「氏名(同配)」)。  
(源泉・特別)控除対象配偶者の欄に氏名は記載しません。

**生命保険料欄**  
生命保険料控除を適用した場合は、各生命保険料の支払額を必ず記入してください。

**5人目以降の扶養親族の個人番号欄**  
5人目以降の扶養親族がいる場合は摘要欄に氏名を記入し、個人番号(マイナンバー)12桁を記入してください。

**5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号欄**  
5人目以降の16歳未満の扶養親族がいる場合は摘要欄に氏名を記入し、個人番号(マイナンバー)12桁を記入してください。

**中途就・退職欄**  
年の途中で就職や退職をした場合は「就職欄」または「退職欄」に○をつけ、その日付を記入してください。

**生年月日欄**  
必ず記入してください。元号を漢字で記載してください。(正確に) ※個人の特定をするうえで必要な事項です。

**16歳未満扶養親族の欄**  
16歳未満の扶養親族がいる場合は、人数を記入し、「16歳未満の扶養親族」欄にその16歳未満の扶養親族の氏名、フリガナ、個人番号(マイナンバー)12桁を記入してください。

注1: 同一生計配偶者とは、受給者と生計を一にする配偶者で、合計所得金額が48万円以下である方をいいます。  
注2: 控除対象配偶者とは、同一生計配偶者のうち、合計所得金額が1,000万円以下である受給者の配偶者をいいます。  
注3: 源泉控除対象配偶者とは、合計所得金額が90万円以下の受給者と生計を一にする配偶者で、合計所得金額が95万円以下である方をいいます。